



昭和55年8月26日第三種郵便物認可 ■ 平成21年3月10日発行 (毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

ともしえ

2009

3

No.315



CONTENTS

巻頭特集

函館開港150周年記念特集

イギリス・オールコック「大君の都」より

4月13日から新事務所へ移転します!

函館商工会議所ホームページ

<http://www.hakodate.cci.or.jp/>



150th ANNIVERSARY
HAKODATE PORT

極度型

一度の手続きで、
 在学中何度でも繰り返し
 ご利用可能！！



しんくみ教育ローン



毎月の仕送資金も

らくらく自動送金！

在学中は元金据置で、

卒業後に元利均等返済！

ご利用いただける方	年齢が満 20 歳以上 60 歳以下 (完済時 70 歳以下)
ご利用金額	100 万円以上～500 万円以下
対象校	専門学校、短大、大学、大学院等
ご返済期間	最長 14 年 6 ヶ月以内
ご返済方法	在学中:元金据置で利息のみお支払 ※ 但し、元金の返済は随時可能です 卒業後:証書貸付に切替えて元利均等返済
融資利率	在学中:固定金利、年 2.45% 卒業後:変動金利、年 2.45%(※H20 年 10 月 27 日現在。金利情勢により変更する場合がございます) ※別途、保証料を申受けます。(H20 年 10 月 27 日現在 2.0%)
お使いみち	① 受験時に係る費用(受験料、下見、宿泊費用等) ② 入学時に係る費用(入学金、寄付金、授業料等) ③ 在学中に係る費用(授業料、研修費用、仕送資金等)
その他	・商品についての詳細は、店頭に設置してあります「商品概要説明書」をご覧ください。 ・審査の結果によっては、ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

(平成 20 年 10 月 27 日現在)

本店営業部	函館市千歳町 9 番 6 号	☎ 23-2101	湯川支店	函館市湯川町 2 丁目 10 番 4 号	☎ 57-0572
北斗支店	北斗市飯生 3 丁目 4 番 1 号	☎ 73-2308	美原支店	函館市美原 3 丁目 25 番 5 号	☎ 46-9121
十字街支店	函館市豊川町 7 番 27 号	☎ 26-5544	花園支店	函館市花園町 2 7 番 2 号	☎ 55-2110
富岡支店	函館市富岡町 1 丁目 2 2 番 3 号	☎ 43-1311			

函館商工信用組合

ともえ

3月号
(通巻315号)

2 特集

4 会議所のうごき

8 中小企業相談所だより

10 会員企業ご紹介

11 新幹線情報

12 健康情報

13 ご案内

14 流行ものから見えるもの

15 平成21年度検定試験一覧

16 観光コンベンション情報

◆今月の表紙 「函館公園全図」

石田良助(柏陽)著 函館 魁文社

1882年(明治15年) 彩色 折図 特大 1枚 3枚続

(函館市中央図書館所蔵)



視 点

道内最大手百貨店である丸井今井が、民事再生手続開始を決定してから1ヶ月が経過した。

この間本店がある札幌はもとより、支店がある函館、旭川、室蘭の各地域では、街ぐるみで店舗存続を望む運動が展開されている。

小売業界の中で、百貨店はこれまでシンボリックな存在として君臨してきたが、近年消費者の買物消費行動の変化により、年毎に厳しい経営を強いられてきていた。

特に函館程度の人口規模にある地方百貨店は、規則緩和により大型の郊外型ショッピングセンターの出店が相次いだことにより、売上げは減少の一途を辿ってきている。

今回の場合、函館をはじめとする地方店は、その存続が当初から危ぶまれ、再生の鍵をにぎるスポンサー企業も、現下の深刻な消費不況の中では、名乗り出る支援企業がないのではとの不安の声もあったが、幸い日本を代表する百貨店グループ二社が支援表明をしたことにより、関係者は安堵感を強めているが、まだまだ余談を許さない状況が続いている。

今後は、スポンサー企業の決定、再生計画案の提出と順次作業が進められていくわけであるが、今、我々に求められていることは、関係方面に函館店存続の要請活動を継続することはもちろん、この街にあっては、函館店が小売業の核となっていること、万一、函館店が全廃というような事態になった場合、函館市の小売業は深刻な事態になることが避けられないことを市民に強くアピールし、市民にも函館店での買い支え行動が、店舗存続への最も大きな力となるとの共通認識を持ってもらうよう行動していくことが重要と考えている。

広告掲載企業

(株)近藤商会	裏表紙
函館商工信用組合	表紙裏
北海道地域ジョブ・カードサポートセンター	裏表紙裏
(業)英知国際特許事務所	段下
(株)森川組	段下
中小企業基盤整備機構	段下
(株)不二屋本店	段下
龍文堂印刷(株)	段下



函館開港150周年 記念特集

～外国人が見た当時のほこだて～



▲オールコック(岩波文庫『大君の都』)

第2回 イギリス・オールコック「大君の都」より

◆日本への赴任

安政元年(1854年)の日米和親条約の調印に引き続き、安政5年(1858年)7月には、日蘭・日露・日米との修好条約、9月には日仏修好条約と相次いで調印したこの頃の日本は、対外関係において多事多難な時期を迎えており、さらに「安政の大獄」といわれる井伊直弼の恐怖政治に対して反発した桜田門外の変など、明治維新の到来を目前に控える中で、国内は騒然としておりました。

安政6年(1859年)5月、イギリスの初代駐日公使のラザフォード・オールコックが総領事兼外交代表として来日しました。彼が50歳の時であります。もともと外科医であったオールコックは、軍医としてイギリス軍に従事しスペインに滞在していた折に、外交官になることを志し、やがて中国廈門の領事館の一等書記官となり、さらに福州領事、上海領事そして広東領事のポストを経て、日本へ赴任したものであります。

◆日本各地を旅行

オールコックは、日本にやってくる以前から、日本の歴史や鎖国時代の状況などを事細かに研究していたといえます。

彼の日本滞在期間は、僅か3年にしかすぎませんが、この間、函館の地を踏んだのははじめ、おそらく外国人としては初めてであります富士登山、熱海、横浜、長崎から九州を経て江戸へ至る陸路の旅、下関から瀬戸内海と兵庫への航海、兵庫から大阪といった具合に、日本各地への旅を重ね、幕末期の日本人の生活模様や産業経済、宗教、文化などを鋭い視点から観察しておりますが、『大君の都』は、当時のわが国の実情を知る上でも極めて貴重な日本滞在記であります。

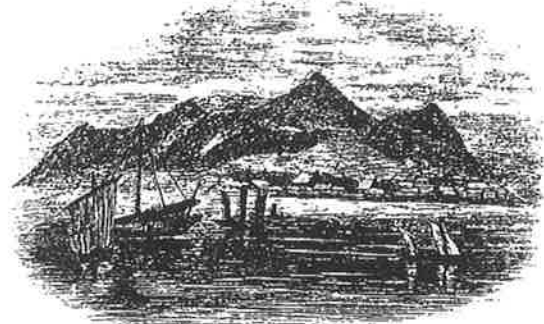
なお、大君とは、徳川将軍のことで、幕末に用いられた称号であります。

◆オールコックの見た函館

オールコックが函館を訪問したのは、来日して間もない安政6年9月のことであります。

「箱館ないし箱館(日本人はひろく一般にハコダテと発音している)の港と江戸との距離は約600マイルで、そこへつづくのに10日あまりかかった。」

「箱館の町は、湾の東端に突き出た島のような岬のすそにいだかれており、細長い漁村とほとんど変わりが無い。それは、いささか規模は小さいながらも北向きに位置していて、まざまざと香港を思い出させる。また、中立地帯をよくあらわす一連の長い土地がある点で、ジブラルタルにいささか似ていないこともない。(中略)そこで上陸して、この地の目新しいものや、興味ぶかいものを見てみるとしよう。ここは、水深の浅い江戸湾とはちがひ、われわれの小舟は上陸地点の階段のところまでゆける——このことは、江戸湾で、浅瀬を1マイルにもわたって平底舟で竿をさしながらすすみ、さらにつぎの1マイルも泥のうえをわきへそれたり、すべっていったりするようなことを経験してみればじめてわかる利点だ。箱館の大通りまでは、数歩でゆける。空気はすがすがしく、北風が吹いている。それゆえに、長崎に到着したヨーロッパ人が最初に驚かされる裸体姿はどこにも見当たらない。」



▲オールコックの見た函館湾

「この町の住民は漁夫であり、湾内にはサケ・カレイ・ヒラメなどの魚が豊富である。街頭のほとんどすべての店先には、目方が15ポンドから20ポンドもあるような、みごとなサケがならべてあり、その多くはまだ生きている。値段は、一尾当たり半分から一分(9ペンスから1シリング6ペンス)程度まで、さまざまだ。不幸なことに、サケは季節はずれで、柔らかく、産卵期が近かった。だが、捕獲する

にはなんらさしさわりはないらしく、日本人は平気で食べているようだ。ほとんど一軒おきぐらいに商店が、同じ産物を干して塩づけにしたものをずらりととならべ、三尾一分、すなわち一尾6ペンスの割で売っている。」

「商店が二列にならんで開いているところをとおり抜けて歩いてみると、大部分の商品は食料や衣服や器具類で、多くても貧しい住民たちが日常生活に必要なものばかりであることが、すぐにわかった。町は、人口が約6,000人で、蝦夷（北海道）の島内では、松前だけが、ここよりも人口および商業の点で大きな中心地である。松前は、海岸沿いに60マイルほどへだたったところにある海港で、住民の数は約6万あるとのことである。あちこちの商店には、いささか貧弱な漆器の見本がある。海草・ナマコ・乾燥キノコなどのような米を食う中国人や日本人の好みにあった美味な食料品がここにあるようで、これらはここから中国向けに輸出する別種の輸出品になりそうだ。絹織り物もあるにはあるが品質が悪い。だが、日本製の模様のついたキャラコがたくさんあった。」

函館の地理、風土、店先で取り扱っている魚の種類から値段まで、当時の函館の雰囲気が実にリアルに伝わってくる様な見事な描写であります。



▲現在の実行寺

「わたしの仲間のロシア領事〔ゴシケビッチ〕は、かれらの食事を供給する能力をあまり信用していなかった。それで、これは馬丁の皮製の袋からコガモとニワトリとヒツジの冷肉、あらかじめつくっておいた中国茶の大きな箱、日本産の小麦粉でつくった上質のパンをとり出した。そして、その横にシェリー酒を一壇おいた。それゆえに、われわれが注文したのは熱湯と茶わんと堅ゆでの卵と葉巻き用の火であった。これらのものはすみやかに運ばれてきた。ただし、それを運んできたのは目のぼちりしたあだっぼい美人ではなくて、いやな横目づかいをする金切り声のわんぱく小僧であった。食事中に、われわれが畳のうえにからだをのぼしていると、黒檀のように黒く歯を染めた2、3名の女性が同座して、彼女たちにじっと見つめられるという恩恵に浴した。やがて住人が、堅ゆでの卵と熱湯だけでは商売にならぬと考えてか、小さな皿にのせたお盆をもってきて、あまり新鮮とは見えぬ大きなサケでわれわれの食欲をそそろうとした。」



▲現在の称名寺



▲尺八を吹く函館の男性



▲函館女性の服装



ところで、この函館への旅でオールコックは、安政5年（1858年）11月函館に赴任していた最初のロシア領事ゴシケビッチと会っております。実行寺を仮住居としたゴシケビッチは、寺の住職と同居しなければならず、家族と部下のプライバシー保護を心配したり、しきりに鳴る木魚の音やお経を読む勤行がしばしば業務の遂行を困難にしたといっています。現在のハリストス正教会付近に最初のロシア領事館が建てられるまで生活しました。オールコックは、ゴシケビッチとの食事の場面を次の様に記しております。

オールコックの函館訪問の目的のひとつは、函館へ着任させるイギリス領事を任命するための住居設備の調査にありました。しかしその設備は不十分であり、4つしかない寺院も既にロシア領やアメリカの商業代理人に占有されており、これでは領事とその婦人を函館に置くことは出来ないと困っていましたが、函館滞在9日目に、ようやく領事館として使用出来る寺、称名寺がみつき、これを仮領事館としてイギリス国旗ユニオンジャックがひるがえる中で、初代領事にホジソンを任命し、函館を後にしたのであります。

会議所の うごき

第4回常議員会開催

第4回常議員会を去る2月9日、ロワジュールホテル函館において、沼崎副会頭をはじめ27名が出席して開催しました。

当日は報告事項として、議員の異動（職務を行う者の変更）、昨年12月以降の陳情要望活動および部会委員会について報告されました。

続いて附議事項の審査に入り、1月28日に開催された函館経済センター建設特別委員会において審議された自社ビル取得の件につき、これまでの経緯と4月13日からの業務開始、さらにはこれに関わる予算について説明があり、協議が行われた結果満場一致で承認されました。



▲冒頭、挨拶する沼崎副会頭

また新会員の加入について、昨年12月4日以降に入会申込を受けた12事業所について協議され、承認されました。

商業部会開催

商業部会幹事会を去る2月6日、本所において松本担当副会頭、渡辺部会長ほか13名が出席し開催しました。

当日は、(株)丸井今井の民事再生法適用申請、グルメシティ五稜郭店の閉店、中心市街地活性化への取り組みについて議論がなされ、丸井今井の問題については函館店の存続を関係先に今後強く要請していくほか、逼迫しているテナントの資金繰り問題にはセーフティネット貸付の利用拡大など、全面的な金融支援を実行に移すこととしました。

今回の丸井今井の問題は、本町地区だけの問題で



▲協議を行う部会幹事

公共施設等の維持修繕事業 実施に関する要望開催

公共施設等の維持修繕事業実施に関する要望を去る2月4日、函館市役所において行いました。

当日は、本所沼崎副会頭、亀田商工会竹林会長、東商工会尾関会長をはじめ5名が市役所を訪れ、相次ぐ公共事業の削減により経営環境が悪化している建設関連業界について、補正予算の前倒しにより公共施設の維持修繕などの発注を速やかに行うよう、西尾函館市長に対し要望を行いました。



▲西尾市長(左)へ要望書を手渡す沼崎副会頭(右から二番目)

(株)丸井今井函館店存続等 に関する要請開催

西尾函館市長、本所松本副会頭、さらには函館市商店街連盟渡辺会長ほか関係者が、去る2月10日に北海道庁、北海道経済産業局、北洋銀行、北海道銀行を、また2月18日には、(株)丸井今井畑中代表取締役社長、橋本昭夫弁護士を訪問し、同社函館店の存続について要請活動を行いました。

本所では、117年にわたり地域経済において重要な役割を担ってきた同社函館店の存続を図るため、今後とも強力な運動を展開していきます。

羽田空港再拡張後の国内航空路線網 の充実に関する要望開催

函館空港振興協議会(会長:本所高野会頭)が、去る2月13日、国土交通省に対し羽田空港再拡張後の国内航空路線網の充実に関する要望を行いました。

現在羽田空港は、平成22年完成予定の再拡張工事を進めており、完成後は発着枠が現状より1.4倍増加すると見込まれています。そのため当協議会では、南北海道地域の振興、発展を図るうえで極めて重要な函館～羽田間の増便要請を行いました。

シンポジウム「新幹線開業を いかしたまちづくり」開催

北海道新幹線開業はこだて活性化協議会(会長:森川副会頭)が、去る2月5日、シンポジウム「新幹線開業をいかしたまちづくり」をホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

同シンポジウムには約200名の市民が参加、はじめに日本政策投資銀行の藻谷浩介氏より同タイトルでの基調講演をいただき、全国の事例紹介を交え、新幹線開業を最大限に生かす函館ならではの方策について様々な示唆をいただきました。あわせて、2015年度に予定されている北海道新幹線新函館駅(仮称)開業にむけ策定された「北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン」の内容を、プレゼンテーションならびにパネルディスカッションを通じて広く地域にアピールしました。



▲多くの市民で賑わったシンポジウム

北西太平洋沖合域鯨類捕獲調査船団 函館入港およびツチクジラの捕獲枠 拡大に関する要望開催

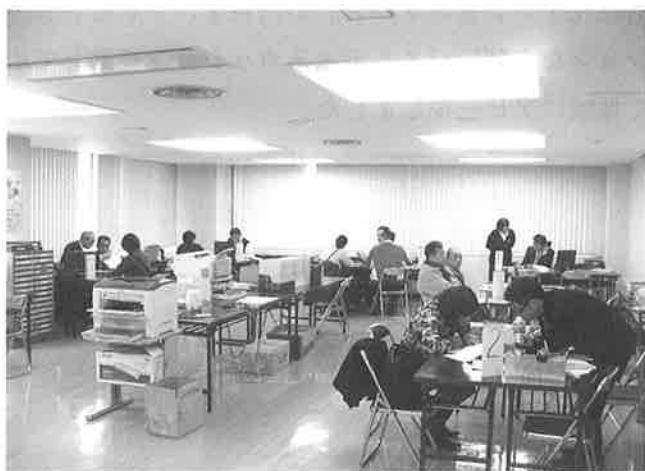
北西太平洋沖合域鯨類捕獲調査船団函館入港およびツチクジラの捕獲枠拡大に関する要望を、去る2月17日、農林水産省や日本捕鯨協会などに対して行いました。

函館は、古くから捕鯨の歴史がありますが、1982年に商業捕鯨が一時停止された以降は、鯨の食習慣が薄れつつあります。そのため函館くじら普及協議会ではフォーラムなど普及活動に努め、国際水産・海洋都市構想を目指す函館にとっても、鯨への各種取り組みは地域経済活性化に繋がると考えており、鯨に関する要望を行いました。

納税相談開始

中小企業相談所では、函館地区税務指導所を設置し、去る2月13日から今月16日までの確定申告期間中の日程で、経営指導員9名による税務相談を行っています。

まだ確定申告がお済みでない方は、期間中までにご相談下さい。



▲納税相談の様子

台湾観光客誘致訪問開催

台湾観光客誘致訪問団（団長：本所森川副会頭）が、去る2月15日～18日の日程で、台湾を訪問し航空会社三社などを訪れ、チャーター便の要請や観光客誘致活動を行いました。

台湾からのチャーター便は、今年2月に利用人数で約4割を占めていたマンダリン航空の撤退が決定し、函館の主要産業である観光に悪影響を与えることが懸念されることから、マンダリン航空から引き継いだ中華航空や運航実績のあるエバー航空、さらには復興航空に対し、函館—台湾間の運航拡大および定期便化の要請を行いました。また、同時に台湾の観光関係団体や旅行代理店を訪問し、函館観光のPR活動を行いました。

2009ミスはこだて コンテスト開催

函館国際観光コンベンション協会主催による2009ミスはこだてコンテストが去る2月28日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

当日のコンテストでは、15名の参加者の中から1次審査、2次審査を行い、その結果、下記3名の方が第30代ミスはこだてに選ばれました。



▲左から工藤さん、林さん、當摩さん

女性会

2月例会を、去る2月23日、ロワジールホテル函館において森商工会議所女性会、銭亀沢地区女性部の皆様も参加し、総勢43名で開催しました。

当日は、講師に函館市地域包括支援センターこん社会福祉士・三谷真理氏、介護福祉士・鈴木朋子氏、市立函館保健所保健士・坂野真規子氏を招き、「認知症サポーター養成講座」と題して、住み慣れた地域で生き生きと過ごすために認知症を学び、地域を支えようと、認知症サポーターとは何か、認知症を理解する、認知症予防・早期治療についてを学びました。参加者は熱心に聴講し、研修終了後には「認知症サポーター」として、オレンジリングが授与されました。



▲ライトアップされたキャンドルを囲んで



▲講演を聞く参加者

青年部

シーニックバイウェイ函館・大沼・噴火湾ルート主催によるシーニックdeナイト2009バスツアーを、去る2月7日、31名が参加のもと開催しました。

当日は、大沼にてシーニックdeナイトのキャンドル設置、点灯を行い、同時開催されていた大沼函館雪と氷の祭典のオープニングセレモニーと合わせ観賞しました。また、帰りには南茅部公民館前のキャンドルを観賞し、参加者に提供された甘酒で体を温め、ツアーは終了しました。

今後のうごき

3月	
16	(月) 第5回常議員会
17	(火) 箱館五稜郭祭協賛会理事会 中小機構函館オフィス窓口相談日
18	(水) 日本政策金融公庫函館支店による「一日公庫」 融資相談会 <予約制> 函館市金融制度説明会
22	(日) 2・3級販売士資格更新講習会
24	(火) 新入社員セミナー 中小機構函館オフィス窓口相談日
25	(水) 第53回函館圏優良土産品推奨会 弁理士による知財駆け込み寺(旧発明・商標相談) 相談日 <予約制>
26	(木) 第3回通常議員総会
27	(金) 専門相談員(弁護士)による法律相談日 <予約制>
31	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
4月	
7	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
8	(水) 専門相談員(公認会計士)による経営相談日 <予約制>
13	(月) 本所新事務所オープン営業開始
14	(火) 中小機構函館オフィス窓口相談日
【2月28日現在】	

中小企業相談所 だより

金融	経営改善	税務
労務	法務	新規創業
取引照会	情報化	環境対策

どんな事でもお気軽に！
各種申込・お問い合わせは
函館商工会議所 TEL 0138-23-1181
銭亀沢支所 TEL 0138-58-3057

マル経融資制度

(小規模事業者経営改善資金融資制度)

マル経融資制度は、経営改善を図ろうとする小規模事業者の方々に
バックアップするため、無担保・無保証人・低利で融資する制度です。

マル経融資制度の特徴

融資限度額は？

1,000万円

返済期間は？

運転資金は5年以内
設備資金は7年以内

担保・保証人は？

不要です

利率は？

2.10%(平成21年2月12日現在)

*利率は変動しますので、お問い合わせ先
にご確認ください。

融資の条件

- 対象資金：運転資金、設備資金
- 融資限度額：1,000万円
- 返済期間：運転資金5年以内、設備資金7年以内（据置期間はいずれも6カ月以内）
- 利率：2.10%(平成21年2月12日現在)*利率は変動します。詳しくは上記お問い合わせ先でご確認下さい。
- 無担保・無保証人

ご利用いただける方

- 常時使用する従業員が20人以下（商業・サービス業の場合は5人以下）の法人・個人事業主の方
- 商工会議所の経営指導員による経営指導を原則6カ月以上（会計整備の状況などに応じて経営指導員の判断により短縮できる場合があります。）受けている方
- 義務納税額（所得税、法人税、事業税、都道府県民税もしくは市町村民税）を完納している方
- 原則として同一地区で最近1年以上事業を行っている方
- 商工業者であり、かつ、日本政策金融公庫の融資対象業種を営んでいる方
- *平成20年度より生活衛生関係営業（飲食店、喫茶店、食肉・食鳥肉販売業、冰雪販売業、理容業、美容業、映画・演劇・演芸場、旅館業、浴場業、クリーニング業）の方も、運転資金に加え設備資金のご利用が可能となりました。